

公共施設の老朽化問題を知った
みんなの声

公共施設の老朽化問題に関する市民アンケート(2019年2月実施)から、当問題に対するご意見を一部紹介します。

VOICE



20歳代 男性

自分自身はこれまで利用することは少なかったが、妻が出産し、子育てをしていくようになり、公共施設における子育て支援等に参加し、その必要性を実感している。子育て・教育などに不利益がないような維持をお願いしたい。

40歳代 男性

国、地方公共団体、民間、同じ問題をかかえています。増やすことから既存の今ある(いる)人も、お金でやっていけたらと思います。無理することなく、身の丈にあう施設、財政を望みます。

一緒に
考えてみよう!

40歳代 女性

小中合同にするとどちらかの施設がそのまま残り、人が近寄らず危険ではないかとみています。合同にするのはいいですが、使わない土地、建物をどうするのかも一緒に考えてほしいです。

60歳代 女性

相浦支所と公民館が一緒になり、バス停からも近く1カ所で用事を済ませる事が出来便利になりました。

70歳以上 男性

スポーツの向上、文化の向上を考えれば、施設は必須だと思います。他の予算(ムダな予算)を見直してでも、こちらの予算は確保してほしい。

NEW 冊子発行の案内

老朽化問題に関する冊子を作成しました。(A4判・16頁)

当問題をたくさんの市民の方に知っていただき、皆さんと一緒に理解を深めていくための専用冊子を作成しました。老朽化の現状やこれからの取り組みなどを、漫画や著名人へのインタビュー記事で分かりやすく紹介しています。



漫画で
分かりやすい!
老朽化問題
8頁



[4月より順次設置予定]
*ホームページでも公開予定

内容 特集「公共施設とみんなの物語」
漫画で読む公共施設マネジメント・佐世保市の公共施設 ACTION! 未来のために私たちが出来ること
「老朽化問題クイズ」プレゼント企画 など

設置場所 佐世保市役所(本庁・支所)、地区公民館、スポーツ施設
観光・レジャー施設、他

情報公開について

公共施設の老朽化問題に関する情報を、佐世保市のホームページで公開しています。

◎これまでの取り組み経過

◎各種方針・計画

施設白書/資産活用基本方針/公共施設適正配置方針・保全年針/公共施設適正配置・保全基本計画
第1期実施計画/公共施設等総合管理計画

◎今後の取り組み予定

◎老朽化問題の冊子に関する事など

佐世保市
施設再編保全
関連ページ→

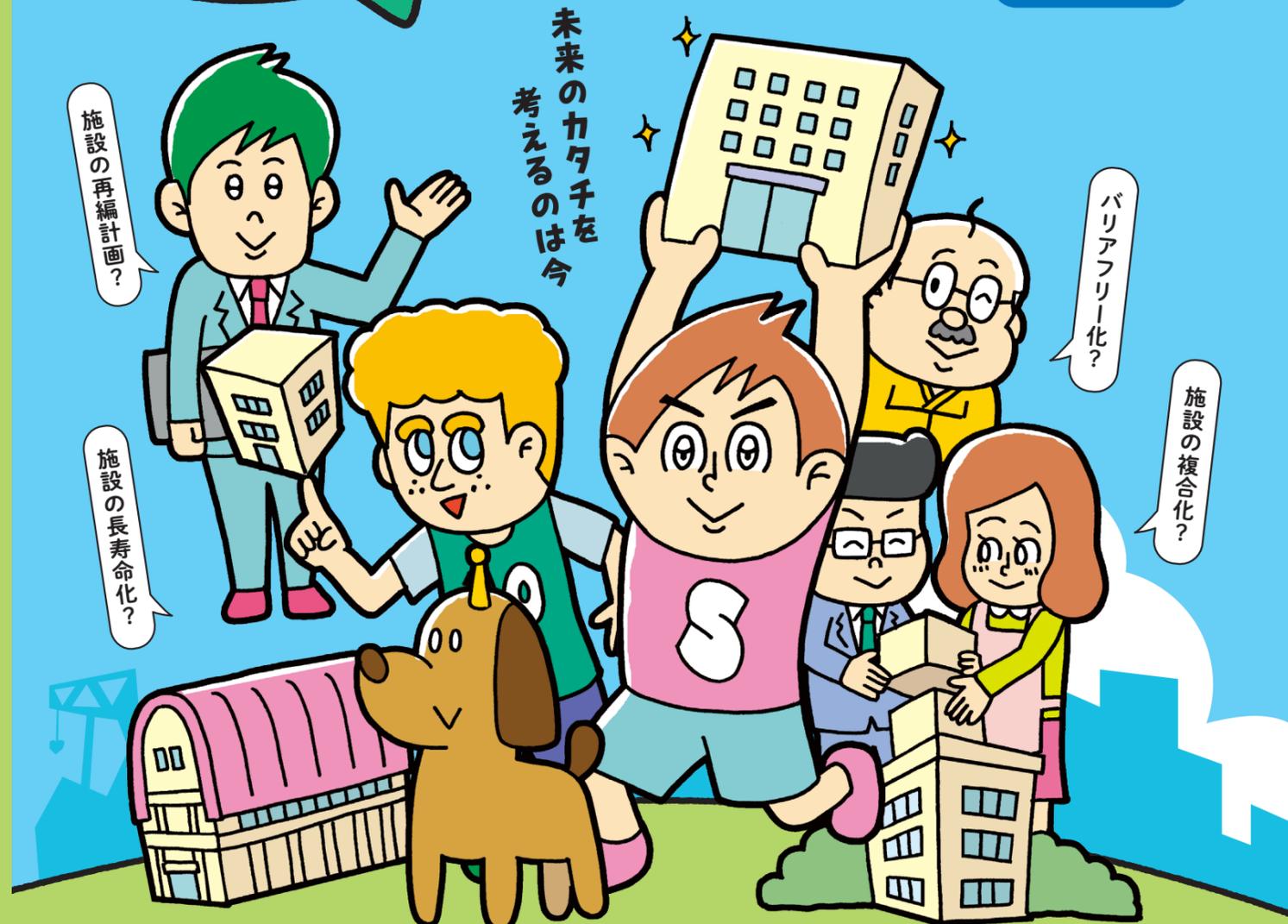


問い合わせ先
発行元

佐世保市財務部 資産経営課
〒857-8585 長崎県佐世保市八幡町1番10号
電話:0956-24-1111(代表)
FAX:0956-25-9648

知っ? 公共施設の老朽化問題

佐世保市



どんな問題?

市民の皆さんの税金で維持管理を行っている学校や図書館・体育館などの公共施設、「古くなってきたな」と感じることはありませんか?これらのほとんどは1970年頃から人口増加や高度経済成長に合わせて建設された建物で、経過年数に伴う老朽化が進んでいます。皆さんが日常使っている公共施設を安全に利用できるように、佐世保市では老朽化問題への対策を進めています。

市民の皆さんに知って欲しい
3つのこと!

- 公共施設の老朽化
- 建て替えの資金不足
- 安全に利用できる施設環境の確保

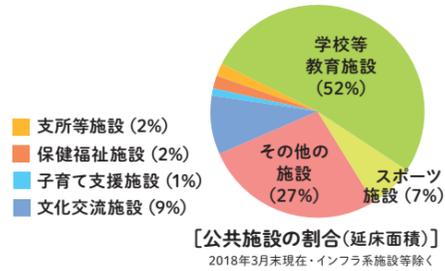
詳しくは中面

みんなで考える！ 公共施設の老朽化問題



Thinking

1. 佐世保市の公共施設をとりまく現状と問題



佐世保市は約3,000棟(890施設)の公共施設を保有しています。市民1人あたりの延床面積は4.6㎡で、全国平均の3.3㎡を大きく上回っています。



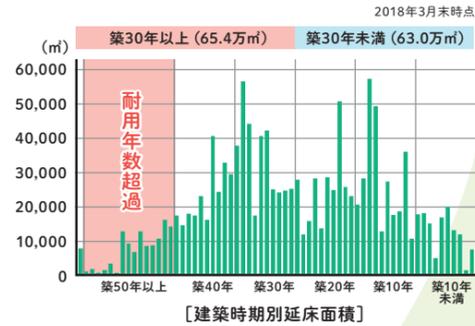
そもそもどれくらいの数があるの？



公共施設の何が問題なの？

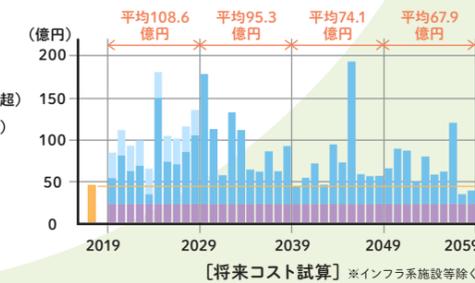
耐用年数を迎える施設が年々増えていく！

公共施設の多くは1970年代頃の人口増加や高度経済成長にあわせて建設されたもので、その半数は既に築30年を超えています。これらの施設が、今後一斉に建て替えや大規模改修の時期を迎えることになります。



建て替えや改修が追い付きません！

今ある施設をすべて建て替えるには、今後40年間にわたって年平均86.5億円が必要となり、過去10年間の公共施設等にかかってきた費用の平均45.8億円を大きく上回るようになります。



今後40年間の建て替え・改修にかかる費用の総額 3,460億円

そんな中…

高齢化が進むと

働き盛りの人口が減ると

社会
保障費
増

社会
保障費
増

財政状況が
厳しく
なっていく

今保有している施設を全て維持していくことはできません

さらに…

社会的ニーズの変化や市民ニーズの多様化も公共施設に求められるサービスや機能が多様化しています。

- ◎使われていない部屋が目立ってきた
- ◎高齢者の交流の場を作って欲しい！
- ◎みんなに優しいバリアフリーにしてほしい！
- ◎民間企業と連携して、魅力的な施設を！

Thinking

2. 課題として

- ✓ 安全に公共施設を利用できる環境を確保していくこと
- ✓ バリアフリーをはじめとした社会的(市民)ニーズに対応するための機能の充足

限られた予算は建て替えや改修がより必要な施設に使っていきます。

計画を立てて進めています！



つまり「施設整備の選択と集中」

施設の状態を見極め取捨選択を行う必要があります。

たとえば…

機能集約化・複合化のイメージ



メリット

維持管理費の削減
新しいニーズへの対応
ワンストップサービスによる
利便性の向上も

② 建て替え費用を抑える取り組みも

できるだけ建て替えを行わずに長寿命化を行います。今ある施設をリニューアル(改修)し、長期的に使用していきます。

施設の長寿命化イメージ



建て替えよりも、費用の3~4割程度を削減できます

建物の躯体部分(基礎・壁・柱等)をそのまま使用することで工期の短縮・廃棄物の抑制・用地取得不要などのメリットも

リニューアルすると僕たちが大人になる頃まで使い続けられるんだね

スゴイ！リニューアルが
お得なんだ！



Thinking

3. 課題の解決に向けて

現在佐世保市では、公共施設の老朽化問題への対応策として、以下の取り組みを進めています。

保有量の最適化・更新費用の縮減

公共施設の再編を行って
延床面積の
15%以上を削減
(今後20年間で)

リニューアル(改修)を行って
80年長寿命化
以上を目標に

具体的取り組みの一例

① 公共施設の適正配置で総量の削減へ！

佐世保市の身の丈に合った「施設の面積や機能」を維持していきます。

機能の集約化・複合化

複数の施設をひとつにまとめる

規模縮小

面積を縮小して建て替える

民営化

施設機能を民間等へ譲渡する

廃止

施設を廃止し処分または解体

まずは知って、考えてみることから！
市民の皆さんと一緒に取り組んでいきます

佐世保の将来を少し不安に思われた方がいらっしゃるかもしれませんが、今のうちから始めれば、将来の子どもたちに負担をかけることなく、安心して安全に利用できる公共施設を維持していくことができます。この取り組みは、市民の皆さんとの対話や情報共有を行いながら進めていきますので、まずは「市民のみなさん一人ひとり」が問題について考えてみる事が大切です。

Let's Think!

